

1. 若者の投票率の向上について 甲府城西高校

私は、インターネット投票の導入について提言します。投票率の低下は民主政治の根幹にかかわる問題であり、若者が投票しやすい環境をつくることで投票率の向上や若者が政治に関心を持つことにも繋がると考えます。

インターネット投票はエストニアで実施されていて、日本では茨城県つくば市が実施を目指しています。最大のメリットは、時間や場所に縛られずに投票できることです。コスト面、通信障害、データ改ざん、本人確認が難しい、立会人がいないため望まない投票を強要される恐れがあるなどのデメリットもあり、公職選挙法が改正されなければ実現が難しいことも知っています。本人確認はマイナンバーカードで可能になり、また東京都知事選以降、公職選挙法の改正を求める意見も出てきています。これを機にネット投票の導入や方法について検討すべきだと考えます。



2. 人口減少危機を突破するためには 巨摩高校

山梨県は、都市部に比べ人口減少が急速に進んでいます。山梨県常住人口調査の結果を県は公表しておりますが、その結果は右肩下がりであり、ここ5年の間、山梨県の総人口が増加したことはありません。この状態が続くことを考えると、即効性のある対応をしなければならないと考えます。

財政的には厳しいかもしれませんが、具体的には、0歳から18歳までの期間、県が独自に10万円前後の給付金を子育て世帯支援のためなどに支給し続けることが必要であると考えます。

また、仕事と育児の両立ができるように、育児をする親が育児休暇の取得や時短勤務、隔日勤務などといったような様々な選択肢から、自身が子育てしやすい労働形態を選ぶことができる環境を整えることも重要だと考えます。

日本の経済はバブル絶頂期のようなわけではないので、行政が積極的にお金を出していかないと、県に未来はないと思います。



3. 公共交通機関の充実について 笛吹高校

山梨県では人口の県外流出が問題となっています。実際に、進学を機に転出する高校生も少なくありません。私は、都内への通勤・通学者の交通利便を高めるため、甲府までの通勤快速の延長とリニアの早期実現を望みます。

これらが実現されれば、私たち高校生の進学先の選択枠が増えるとともに、山梨県の広範囲が都内への通勤・通学圏内となり、県民の人口流出に歯止めをかけられると思います。また、都内から多くの移住者が見込まれ、地域活性化にもつながります。山梨県は自然が豊かであり、都道府県物価ランキング 37 位と生活物価も安く生活しやすいです。観光面では、世界遺産の富士山や果樹栽培など他県に誇れる要素が多く、観光地への集客と県の魅力アップも期待されます。

駅周辺の都市開発は、自然と調和した持続可能なものとなることを望みます。



4. 自転車ヘルメット着用の徹底方策について 都留興譲館高校

最近、自転車事故に高校生が巻き込まれて大きな怪我を負ったものの、ヘルメットを着用していたことで命が守られたということを知り、高校生のヘルメット着用の徹底が命を守るために重要であると実感しました。私の高校では自転車ヘルメットの着用が十分ではない様子が見られ、ヘルメット着用徹底に向けた取り組みが必要だと考えました。

そのため、私はヘルメット着用の重要性を高校生に伝え、実感してもらうことが大切だと考えます。例えば、自転車事故の危険性を伝えるために、スタンマンによる事故の様子を再現した動画を作ることがよいと思います。その上で、その動画を学校に配布したり、YouTube等で広告として流したりすることがよいと考えました。実際に事故の様子を見てもらうことで、ヘルメットを着用しないことがどれほど命を危険にさらしているかを知ることができるのではないのでしょうか。

高校生が自転車事故で亡くなることのない山梨県となることを願います。

